

実践シート

年 組 番 氏名

働きかけの実際

日付	誰が誰に	どんなことをしたか	どんな様子か
/	↓	実際にどのような関わりをしたかを記録していく。	
/	↓		

次年度への申し送り等

次年度へ引き継ぐために必要な情報を記入する。

「教育的支援項目」について

教育的支援項目とは：学校で支援を行っていく際の具体的なポイント

児童生徒	①学習	学習環境を整えたり学習支援を行ったりすることで、自己肯定感や学校への適応感の向上につなげる。
	②社会性	児童生徒の年齢や特性に応じた形で、人間関係等の社会性を育成する。
	③進路	児童生徒自身の適切な進路選択につながるように情報を提供したり、見通しをもたせたりする。
	④心理的安定	思春期等の不安定な時期・不安が高まっている時は、児童生徒の気持ちに寄り添い、受け入れることで、心理的安定を図る。
	⑤長所	できないことや気になることだけでなく、生かせるところ等の長所を伸ばすという視点をもつ。
保護者	⑥協働	児童生徒に最も身近な存在である保護者と協働していく視点をもつ。
	⑦支援	保護者の思いを理解し支えることによって児童生徒への支援につなげる。
周囲の集団	⑧関係づくり	クラスの児童生徒の心を育て、受容的な雰囲気をつくる。
	⑨いじめ	いじめはどこにでも起こるものという視点を持ち、早期発見・早期対応等の配慮をする。
教職員	⑩共通理解	児童生徒についての情報交換や支援策の共通理解を図る。
	⑪役割	学校組織の中で、誰がどのような役割を果たすのかをあらかじめ明確にする。
専門機関	⑫特性把握	スクールカウンセラー等の専門機関による適切な見立てにより、児童生徒の理解を深める。
	⑬連携	必要に応じて、医療機関・児童相談所・警察・社会福祉機関等と連携する。